

前回審議会 (H28. 1. 25) で頂いた主なご意見と対応の方向

◆全般

テーマ	委員意見	対応の方向
改定版 ビジョン 全般	1 ○市内企業へのヒアリングなど実態把握をより一層行うこと	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興ビジョンの改定に向けて、市内企業へのアンケート調査を行ったほか、市内企業団体へのヒアリング（50社）や経済団体等との意見交換を実施中です。
	2 ○国、道との施策の棲み分けを図ること ○道との連携の有り方を記載すべき	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事業の検討段階、実施段階においても、国、道との棲み分け、連携を常に意識していきます。 これまでのビジョンにおいても、「施策展開に向けた視点」として、道との連携について記載していますが、改定版ビジョンにおいても、「国・道・経済団体等と連携したオール北海道体制での産業振興」という視点を記載します。
	3 ○企業規模別に施策を構築するとともに、伸ばす産業・維持する産業等に分けて積極投資する産業を明示すべき。また、外貨を稼いでいく中核企業への支援施策を打ち出すべき	<ul style="list-style-type: none"> 積極投資する産業（伸ばす産業）は「重点分野」として整理するとともに企業規模別の施策として、中小企業への支援策に加え小規模企業への支援策についても明記します。 中核企業の定義が不確定なため中核企業支援を直接明記することは難しいと考えていますが、外需獲得（国内外への販路拡大）への支援は本ビジョンの重要な施策として位置づけます。
	4 ○札幌市中小企業振興条例の前文を改定版ビジョンに記載すべき	<ul style="list-style-type: none"> これまでのビジョンにおいては、参考資料として条例を最終ページに掲載していましたが、改定版ビジョンでは、条例前文を本文に記載します。
	5 ○新幹線延伸、オリンピック・パラリンピックの招致、丘珠空港の活用という好機や、TPP への認識、円安、電気料金の高騰、国の政策の変化などの外部環境の変化も改定の要素として取り入れること	<ul style="list-style-type: none"> 「札幌市産業を取り巻く環境の変化（第3章）」の中で、「外部環境の変化」として記載し、第3章を受けて、「改定の視点（第4章）」を導き出す構成とします。

改定版 ビジョン 全般	6	○(目指す方向などは基本的に変えない とのことだが)札幌のあるべき姿など 目指すべき方向性をしっかり議論し て欲しい	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興の目的は、「市民の雇用の場の確保・創出」、「企業・就業者の収入増加」であることはこれからも変わらないと考えております。 目指すべき姿、基本理念、基本的な視点については、この目的を達成するための考え方であることから、現産業振興ビジョンの大枠の考え方を踏襲しつつ、札幌市産業を取り巻く環境の変化を踏まえて、文言の整理を行います。
	7	○市内企業の未来への投資を支援して いくことが重要	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興の目的を達成するための根本的な考え方である「基本理念(第5章)」に、中小企業のチャレンジを積極的に応援していく旨を記載します。
	8	○人口が減少する中で『まちづくり的な 発想』ではなく、中小企業の売上を増 大させるというスタンスを前面に押し 出すべき	<ul style="list-style-type: none"> これまでのビジョンには数値目標を掲げておりませんでしたでしたが、産業振興の目的の1つが「企業・就業者の収入増加」であるとの考えのもと、『市内企業の売上高』を数値目標に掲げ、市民、企業、行政が目標を共有し、一丸となって経済を活性化させてまいりたいと考えております。

◆重点分野

テーマ	委員意見	対応の方向
重点分野 全般	1 <ul style="list-style-type: none"> ○重点分野とする産業が札幌の全産業に占める割合を数値的に示し、定義付けを行うこと ○重点分野は個々ではなく、連動した取組みを見せるべき ○経済と観光の連動施策を増やしていくべき 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所数など、基礎的な情報を把握できる公的調査により、産業毎の分析を行っておりますが、どの産業が、どの分野の事業を展開しているのかという個別の情報までを把握することが困難であることから「分野」という切り口に対応させた統計上の整理は難しいと認識しております 重点分野が連動した取組みについては、これまでも、「食」と「観光」の側面を持つ「さっぽろスイーツ」などの取組みを実施してきておりますが、重点分野を連動させ、相乗効果を生み出す施策について、引き続き検討していきます。

環境(エネルギー)	2	○環境を『環境エネルギー』としたほうがわかりやすいし、実際の実組とも合ってくるのではないかと	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災などを契機に、エネルギーの効率的な利用に関する意識が高まっていることから、『環境』を『環境(エネルギー)』に修正し、今後の成長が期待できる重点分野として推進していきます。
健康福祉・医療	3	○高齢者をターゲットとした介護、医療分野の推進を強化すべき	<ul style="list-style-type: none"> これまでも、『健康福祉』を重点分野として、高齢者をターゲットとした健康に関連するサービス産業の創出などを図ってきました。 改定版ビジョンにおいては、札幌市内において、先端的な研究が行われている医療分野の「研究」を活かした産業振興にも着目し、『健康福祉・医療』分野を重点分野として推進していきます。
IT・クリエイティブ	4	○外需獲得という意味でもITの活用は重要であり、また、市内IT企業と大学との連携を促進すべき	<ul style="list-style-type: none"> IT産業の振興については、全産業を高度化させ、また国内外からヒト・モノ・カネの投資を呼び込むことができる分野であると認識しており、「IT・クリエイティブ」を新たに重点分野として推進していきます。 また、市内IT企業と大学との連携を促進する施策の検討を進めていきます。

◆札幌市経済を支える中小・小規模企業への支援

テーマ	委員意見	対応の方向
経営基盤の強化と付加価値の向上	1 ○圧倒的に多い既存企業という言葉を入れるべき	<ul style="list-style-type: none"> 改定版ビジョンの施策展開の方向性の中で、「市内企業の更なる魅力向上」を「既存企業の更なる魅力向上」に文言を修正します。
	2 ○事業承継に関する相談体制の充実、廃業を減少させるための施策を構築すべき	<ul style="list-style-type: none"> 事業承継の相談体制の充実や廃業減少に対応する施策について、経済団体など関係機関とも意見交換をさせていただきながら検討を進めていきます。
	3 ○『ものづくり』の観点をもう少し前面に押し出すべき	<ul style="list-style-type: none"> 改定版ビジョンの施策展開の方向性における「経営基盤の強化と付加価値の向上」の「付加価値の向上」の部分で、「ものづくり」の観点を記載します。

経営基盤の強化と付加価値の向上	4	○小規模企業支援についての各支援機関との連携や、道内をマーケットにしていることが多い小規模企業への支援を手厚くすべき	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模企業支援について、国の小規模企業振興基本法の制定などの動きを受け、改訂版ビジョンに明記します。 ・また、北海道などの関係機関との連携について検討するとともに、「経営基盤の強化と付加価値の向上」の柱の中で、低利融資や市内でのテストマーケティング機会の提供などの小規模企業向けの施策を記載します。
	5	○地元企業への官公需の増大や、入札制度の改善を図るべき	<ul style="list-style-type: none"> ・地元中小企業者等への受注機会を増やすよう、毎年度、経済局から各局、出資団体に要請するなど、中小企業の受注機会の増大への配慮は産業振興施策として重要であると認識しており、入札制度の改善についても、「経営基盤の強化と付加価値の向上」の柱の施策として記載します。
商業活動の活性化	6	○まちづくりの視点での商店街の有り方を検討すべき	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの産業振興ビジョンと同様、商店街は地域コミュニティの担い手であるとの認識のもと、商店街の振興について、商業活動の活性化の施策として記載します。
海外からの積極的な外需獲得策の推進	7	○積極的に外需獲得策を推進し、例えば、海外進出している店を活用した北海道・札幌の情報発信や道産食材を活用している企業への認証制度等を創設すべき	<ul style="list-style-type: none"> ・「海外からの積極的な外需獲得策の推進」を、施策展開の柱として掲げ、外需獲得策を強化していきます。 ・北海道・札幌の情報発信や道産食材を活用している企業への認証施策を検討していきます。

◆札幌市経済を発展させる新たな企業の創出

テーマ	委員意見	対応の方向
企業立地の促進	1 ○札幌の魅力を市民目線で整理し、改定版ビジョンの中で発信すべき	<ul style="list-style-type: none"> ・職住近接であることや、低廉なビジネスコストなど、札幌の魅力を発信することは、企業や人材を道内外から誘致していくうえで重要な観点であると認識していることから、札幌の魅力を発信する施策を検討していきます。
創業の促進	2 ○北大と連携した企業誘致やベンチャー企業育成の視点も重要	<ul style="list-style-type: none"> ・北大が実施している大学発ベンチャー企業創出に向けた取組みと連携を図っているほか、企業誘致においては、首都圏企業に共同で企業訪問を実施するなどの取組みを進めており、引き続き北大との連携を進めていきます。

◆札幌市経済を担う人材への支援

テーマ		委員意見	対応の方向
企業活動の源となる人材の確保と育成	1	○人材確保について業種毎の詳細な分析を行うべき	・産業振興ビジョン改定に係る基礎調査（アンケート調査）で把握した市内企業の人材確保（採用）の状況や人材確保の手段、課題等について業種毎の分析を行っております。
将来を担う若者への就労支援	2	○学校教育の中で、職業観を身につける教育を実施できないか。また、小中学校からのIT教育や女性の活躍について推進すべき	・小中学生など若年層からの職業観の育成は重要と認識しており、将来を担う子供や親を対象にした職業体験や製造業、建設業などの現場を見学する機会の提供などの取組みを実施しております。 ・改定版ビジョンにおいて、「将来を担う若者への就労支援」の柱の中で施策を記載します。
	3	○ものづくり、建設業の技能伝承、若年層への啓発が重要	
潜在的な労働力である女性、高齢者の就労促進	4	○女性の活躍推進について、職種のミスマッチを解消、労働環境など企業側の受け入れ環境整備を充実させるべき	・これまでのビジョンには、女性の活躍推進について、就労のミスマッチの解消や創業促進の視点を記載しておりましたが、改定版ビジョンにおいては、「女性が働きやすい環境の整備」、「女性のライフステージに応じた就労促進」として、企業側、女性就労者側への支援を両輪とした施策を掲げます。
	5	○女性就労者側の求めている働き方を企業側に情報発信すべき	
	6	○企業へのコンサルタント派遣や、主婦のインターン制度への支援が重要	
	7	○女性の活躍について部局横断的な取り組みが必要	・子育て女性がIT企業の現場で活躍できる仕組みとしても期待できるテレワークの導入推進に係る事業を、子ども未来局と連携して実施する予定であるなど、庁内連携により、女性の活躍推進を進めていきます。
8	○子育て女性がIT企業の現場で活躍できる仕組みを構築すべき		
道外からの人材誘致	9	○「首都圏などからの人材誘致」という記載について、人材は首都圏に限らず国内外から誘致すべきであり、「など」と書いてあるものの、特に首都圏を意識しているように見える	・ご指摘を踏まえて、『首都圏などからの人材誘致』を『道外からの人材誘致』に文言を修正します。
	10	○UIターン技術者の地元IT企業への就労促進を図るべき	・IT技術者の札幌へのUIターンを促進する事業を実施することとしているなど、即戦力人材や首都圏の大学生の人材誘致についての施策を掲げます。

前回審議会(H28.1.25)で頂いた主なご意見と対応の方向

平成 28 年 3 月 28 日現在

札幌市経済局 産業振興部 経済企画課

